

| | | | |
|--------------------|---------------|---------|---------|
| R10 2ライン | S | M | L |
| セル数 | 82 | | |
| 展開面積m ² | 22.0 | 23.7 | 25.7 |
| 展開アスペクト | 7.55 | | |
| 機体重量kg | 5.5 | 5.7 | 5.9 |
| 飛行重量kg | 90-100 | 100-110 | 110-120 |
| 型式登録 | 荷重試験のみ | | |
| 上面クロス | 9017E77 | | |
| 下面クロス | 7000E71 | | |
| リブクロス | 9017E29 | | |
| ライン | Edelrid 8000U | | |
| 希望小売価格 | ¥588000(税込) | | |
| | | | |
| R10 3ライン | S | M | L |
| セル数 | 73 | | |
| 展開面積m ² | 22.9 | 24.7 | 26.7 |
| 展開アスペクト | 7.3 | | |
| 機体重量kg | 5.6 | 5.8 | 6.0 |
| 飛行重量kg | 90-100 | 100-110 | 110-120 |
| 型式登録 | 荷重試験のみ | | |
| 上面クロス | 9017E77 | | |
| 下面クロス | 7000E71 | | |
| リブクロス | 9017E29 | | |
| ライン | Edelrid 8000U | | |
| 希望小売価格 | ¥588000(税込) | | |

トリム速度での一体感、動き、フィードバック

R10-3：R09よりしっくり感あり。セールの動きも少ない。R09や他の2009年コンペ機からの乗り換えは容易。

R10-2：R09よりアスペクトが大きい分セールの動きはある。2ラインシステムのため従来の機体より、難しく感じられる分、慣れるのに時間がかかる。

bbHP：非常に難しい。ピッチは敏感で常にコントロールが必要。

評価：R10-3 > R09 > R10-2 >>> bbHPP

ハンドリング

R10-3：センタリング中、失速しにくく、ブレークをかなり引くことが可能。ハンドリングは良好。ブレーク反応はよりダイレクト感あり、ロールレスポンスも良いので、強いリフトでのセンタリングは比較的容易。

R10-2：ブレーク圧はより軽く、ロールレスポンスはさらに良いので、ハンドリングは最高。失速しにくいのでサーマルでの上昇効率は良好。強いリフトではセールとの一体感があまりないのでコントロールに気を使う。

bbHPP：もっとも上昇効率は良いがコントロールはもっとも気を使う。ロールレスポンスはあまり良くない。ブレークレンジは狭く、リッジ近辺の乱れたリフトでは非常に神経を使う。

評価：R10-2 > R10-3 > R09 >>> bbHPP

ハーフアクセルでの安心感 乱気流中の動き

R10-3：乱気流中やブレークを大きく操作した時の内圧の減少は少なく、従来のグライダーに近い感じ。

R10-2：ピッチ安定が良い。アクセルをキープしたままで、Bライザーで迎角をコントロールすることが可能。

bbHPP：小迎角での翼型を保持するため、剛性のある2次的構造とBライザーでのコントロールにより、乱気流中でも信頼感はある。しかしよりダイレクトなフィードバックとより過激なピッチの動きのため安心感はもっとも少ない。

評価：R10-2 > R10-3 > R09 >>> bbHPP

滑空性能 静大気中でのトリムでのグライド

実際に飛行しての比較をしたが、これはあまり差がない。トリム速度40 km/hで、

R10-3：R09より滑空比で1.3優れている。

R10-2：R09より滑空比で1.7優れている。

評価：R10-2 bbHPP R10-3 >> R09

ハーフアクセル以上での滑空比

55 km/hで、

R10-3 : R09より、滑空比で1.4優れている。

R10-2 : R09より、滑空比で1.8優れている。

2ラインは、Bライザーを使ってダイレクトに迎角をコントロールできるので、アクセルの踏みこみを調整せずに、高速を保ったまま、トランジットが可能。

評価 : R10-2 > bbHPP > R10-3 >> R09

乱気流中の滑空比 乱流を吸収し、リフトに変える能力

これは差が大きい。R09や2009年のコンペ機は比較にならない。

R10-3 : 乱流を吸収し、リフトに変える効率に優れている。

R10-2 : ライン抵抗が少ない分さらに有利。

bbHPP : より剛性の高い構造で翼型を保持するため、もっとも優れている。

評価 : bbHPP > R10-2 > R10-3 > R09

潰れ難さ

R10-3 : 新翼型・構造により潰れ難くなっている。特にハーフアクセル時。

R10-2 : ダイレクトに迎角がコントロールできることと、Aラインの取り付け位置が後方に下がっているため、より潰れ難い。

bbHPP : これまでで最も潰れ難いXCグライダー。

評価 : bbHPP > R10-2 > R10-3 > R09

最高速度

R09, R10, bbHPPともほぼ同じ。しかし、潰れ難さとBライザーコントロールが可能で、bbHPPとR10-2は最高速度を保持しやすい。

立ち上げ

立ち上げは非常に容易。特に無風から弱風時。従来のコンペ機よりはるかに楽。